

神戸大学 大学教育推進機構紀要 編集及び刊行要項

(平成 27 年 7 月 2 日制定)

(最終改正 令和 4 年 9 月 1 日)

(目的)

第 1 条 神戸大学大学教育推進機構(以下「機構」という。)は、高等教育に関する実践的・学術的研究を促進し、教職員への啓発を目的として紀要を刊行する。

(名称)

第 2 条 機構が刊行する紀要の名称は、「大学教育研究」とする。

2 「大学教育研究」の英文名は、Kobe Journal of Higher Education とする。

(刊行期日)

第 3 条 「大学教育研究」は、原則として年 1 回刊行する。

2 「大学教育研究」の刊行期日は、原則として毎年 3 月末日とする。

(刊行経費)

第 4 条 「大学教育研究」の刊行に関する経費は、機構の予算をもってこれに充てる。

(刊行事務)

第 5 条 「大学教育研究」の編集並びに刊行事務は、神戸大学大学教育推進機構編集委員会(以下「編集委員会」という)を設けて行う。

(編集委員会)

第 6 条 編集委員会は、機構長、副機構長、大学教育研究センター教員をもって組織する。

2 編集委員会委員長は、機構長をもって充てる。

(事務所)

第 7 条 編集委員会の事務所は、機構内(〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 1 丁目 2 番 1 号)に置く。

(投稿原稿)

第 8 条 投稿は未発表のものに限る。また、二重投稿は受理しない。

第 9 条 「大学教育研究」に原稿を投稿できる者は、次の各号に掲げる者とする。

(1) 神戸大学専任教員

(2) その他、編集委員会が認めた者

第 10 条 「大学教育研究」に掲載される原稿は、編集委員会を選んだ査読者 2 人の査読をもとに編集委員会で掲載の可否を決定する。

(原稿の執筆要領)

第 11 条 「大学教育研究」に掲載される原稿の投稿要領は、別に定める。

(配付先)

第 12 条 「大学教育研究」の配付先は、別に定める。

(雑則)

第 13 条 この要項に定めるもののほか、紀要の編集及び刊行に必要な事項は、編集委員会が定める。

附 則

この要項は、平成 27 年 7 月 2 日から実施する。

附 則

この要項は、令和 4 年 9 月 1 日から実施し、改正後の第 6 条第 2 項の規定は、平成 29 年 10 月 5 日から適用する。

神戸大学『大学教育研究』投稿要項

2022年1月24日

編集委員会事務局

1. 原稿の様式

- 原稿は市販のワープロソフトで作成する。
- 原稿のレイアウトは、A4判、横書き、40字×35行とし、そのままのレイアウトで印刷・製本する。
- 原稿には題目（日本語題目と英文題目の両方）、氏名、所属、要旨、本文、脚注、参考文献を記載する。
- 原稿の分量は、上記のレイアウトで原則として20ページ以内とし、エントリー時に申告したページ数を超えないものとする（題目、氏名、要旨、図表、脚注、参考文献を含む）。
- 題目は40字以内とする（副題も含む）。
- 要旨の作成は、以下の通りとする。
 - ① 本文が日本語の場合は、日本語（400～500字程度）で作成する。
 - ② 本文が英語の場合は、英語（150～200語程度）で作成する。

2. 表記

- 日本語論文は原則としてMS明朝で作成する。文字サイズは、11ポイントとする。
英語論文は原則としてTimes New Roman（12ポイント）で作成する。英語論文の文字サイズは12ポイントとする。
- 句読点は全角の「、」「。」を使用する。英文の場合は「,」「.」（ピリオド）を使用する。
- 数字は、アラビア数字(1,2,3...)を使用し、原則として半角にする。
- 見出しは 1. 2. 3. …と入れる。小見出しがある場合は 1.1 1.2 …とする。

3. 図表、出典・出所

- 図表は、それぞれに通し番号と表題を付す。
- 図の場合：通し番号と表題は、図の下に付す。出典・出所は、通し番号と表題の下に記す。
- 表の場合：通し番号と表題は、表の上に付す。出典・出所は、表の下に記す。
- PDF版ではカラーで掲載可だが、冊子体では白黒印刷となるので、白黒表示で

も鮮明に読み取れることが望ましい。

- 図表は読みやすいサイズで作成し、図表中の文字は9ポイント前後とする。
- 図表は、個人情報や著作権ならびに肖像権等に十分に配慮するものとする。

4. 引用

- 本文中の引用は、以下の通りとする。
 - ① 引用箇所の直後に括弧書きで著者、出版年次、ページ番号を記す。
例：「...推進しなければならない課題となっていると言えるだろう」（米谷、2015: 5-9）
 - ② または、本文中に著者名を記し、その直後に括弧書きで出版年、ページ番号を記す。
例：山内（2007: 5-9）によれば、...
- 同一著者で同一出版年次の文献がある場合は、出版年次の後に a, b, c 等を付けて区別する。

5. 文献リスト（引用文献、参考文献、参考ウェブサイト）

- 本文で引用・言及したすべての文献をリストにして末尾に記す。
- 最初に和文の文献を五十音順、次に外国語の文献をアルファベット順、最後にウェブサイトの情報（最終アクセス日を含む）を記す。
- 文献リストの形式は以下の例を参考にする。

<記載例>

（単行本）近田政博（2005）『近代ベトナム高等教育の政策史』多賀出版

米谷淳・米澤好史編（2001）『行動科学への招待』福村出版

（論文）山内乾史（2013）「大学生の学力形成支援」名古屋大学高等教育研究センター『名古屋高等教育研究』第13号、pp.165-176.

米谷淳・山田寛・千葉浩彦・鈴木直人（1996）「表情認識訓練の可能性」日本行動科学学会『行動科学』34巻2号、pp.49-57.

（英書）Thelin, J. R. (2013), *A History of American Higher Education*, Johns Hopkins University Press.

（英論文）Yamanouchi K. (1990), "Regional Projection of 4-Year College Enrollment in the year 2000," Japanese Educational Research Association, *The Japanese Journal of Educational Research*, Vol.57, No.2, pp.137-148.

Peterson, M. F., Maiya, K., and Herreid, C. (1994), "Adapting Japanese PM leadership field research for use in Western organizations," *Applied Psychology: An International Review*, Vol.43, No.1, pp.49-74.

（ウェブサイト）

文部科学省中央教育審議会（2008）「新たな未来を築くための大学教育

の質的転換に向けて ～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～（答申）」

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/_icsFiles/afieldfile/2012/10/04/1325048_1.pdf（最終アクセス：2015年3月3日）

6. 脚注

- 注は通し番号を付けて脚注スタイルで掲載する。その場合は、原則としてワープロソフトの自動脚注機能を用いて、各ページの下部に記載する。

7. 提出方法

- 下記のメールアドレス宛に論文本体を添付してメール送信する。
- 提出する際に、メール本文に氏名、所属先を記載する。
- 提出された原稿は返却しない。

8. 提出先

神戸大学 大学教育推進機構 事務室内 『大学教育研究』編集委員会事務局
iphe-kiyou@edu.kobe-u.ac.jp 電話：078-803-7603

9. 提出締切

- 11月30日（エントリー締切10月31日）

10. 査読

- 投稿された論文の査読は、編集委員会が選んだ査読者2人が行い、その結果をもとに編集委員会で掲載の可否を決定する。

11. 著作権

『大学教育研究』に掲載された著作物の著作権は著作者が有するが、著作物の発行に関する権利は神戸大学大学教育推進機構が有する。著作物は同機構のホームページにおいて公開する。『大学教育研究』に掲載された著作物を別の印刷物に転載する場合は、転載を希望する者が『大学教育研究』編集委員会に事前に申し出るものとする。

